

勾玉教室

勾玉をつくろう！

日時 7月28日(日)13:30~15:30
対象 小学生・中学生
定員 10名(先着順)
参加費 200円
申込み 7月21日(日)10:00から電話申込



体験教室

背守り(魔除けの刺繍)をつくろう！

日時 7月14日(日)13:30~15:30
対象 18歳以上
定員 10名(先着順)
参加費 200円
申込み 7月7日(日)10:00から電話申込

考古学教室

銅釧(古代の腕輪)をつくろう！

日時 7月21日(日)13:30~15:30
対象 小学生・中学生
定員 10名(先着順)
参加費 500円
申込み 7月14日(日)10:00から電話申込

埴輪・土器をつくろう！

日時 8月11日(日)13:30~16:00
対象 小学生・中学生
定員 15名(先着順)
場所 寺田コミュニティセンター美術工芸室
講師 志津川陶芸教室
参加費 800円
申込み 8月4日(日)10:00から電話申込

勾玉をつくろう！

日時 8月18日(日)13:30~15:30
対象 小学生・中学生
定員 10名(先着順)
参加費 200円
申込み 8月11日(日)10:00から電話申込

交通案内



■開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 月曜日(祝休日の場合は開館)
祝休日の翌日(土・日曜日の場合は開館)
12月28日~1月4日

■観覧料 おとな 200円(140円)
小・中学生 100円(70円)
＜団体料金＞おとな 160円(110円)
小・中学生 80円(50円)

※団体は20名様以上
※()内はプラネタリウムとの共通観覧の場合の資料館観覧料

＜次の方は観覧料が免除されます＞

- ★城陽市内在住の65歳以上の方
- ★城陽市内在住の小・中学生
- ★城陽市内在住の身体障害者手帳等をお持ちの方
- ★城陽市外の小・中学校の団体観覧(ただし、児童・生徒のみ)



HPはこちら



資料館マスコット「ごりごりくん」

ごりごりくんは心優しい豪族ゴリラです。
「五里五里の里」の「ごり」とその語感からゴリラをキャラクター化したものです。
古墳・遺跡の多い城陽市の特徴から古墳時代を思わせる姿になっています。

五里ごり館
開館カレンダー
印は休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

夏季特別展
スタート！

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

夏季特別展
終了

★印は観覧無料!!!

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

五里ごり館通信

五里ごり館

城陽市歴史民俗資料館(文化パルク城陽 西館4階)

〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀1番地
TEL 0774-55-7611 FAX 0774-55-7612

令和6年度
夏季
特別展

こどもの おもちゃの むかしといま

JOYO
エコミュージアム



令和6年 7月13日 土

8月25日 日

最終日 8月25日 日は 観覧無料

期間中休館日 7月16・17・22・29日
8月5・13・14・19日

HPはこちら

関連事業

レトロゲームで遊ぼう！

日時: 8月3日 土・4日 日
両日とも ①13:15~14:00
②14:15~15:00 ③15:15~16:00

対象: 小学生以上
定員: 各回3名(先着順)
参加費: 無料
申込: 7月27日 日 10:00から電話申込

むかしのおもちゃであそぼう！

日時: 8月12日 日 13:30~15:30
対象: 小学生以上
参加費: 無料
申込: 当日資料館受付で申込

ギャラリートーク(学芸員による展示解説)

日時: 8月25日 日 14:00~15:00
参加費: 無料
申込: 当日資料館受付で申込



石けり 昭和30年代

01 駄菓子屋

通学路の途中にある、食料品や雑貨と一緒に駄菓子や安価なおもちゃを売っていたお店。文房具も扱っていたり、ゲーム機も置いていたり。そんなお店のルーツは江戸時代の「一文菓子屋」です。子どもたちの社交場でもあった駄菓子屋で売っていたおもちゃを展示します。



ミニチュア食器 昭和30年代



ビー玉 昭和30年代



おもちゃの指輪 昭和30年代



日光写真 昭和30年代

05 テクノロジー

子どもたちは新しいものが大好きです。大人たちも、新しい技術や発明を子どもたちに体験させてあげたいと考えています。初めて見る面白い仕掛けや動きに目を輝かせて夢中になる子どもたち、それを優しい目で見守る大人たち。昔も今も変わらない、そんな様子が想像できるおもちゃを展示します。



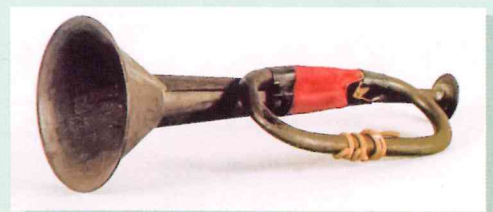
マイキット150 昭和40年代



玩具幻灯機 明治時代
兵庫県立歴史博物館所蔵/提供

04 流行と定番

静かに発売されてだんだん人気が出るもの。かたや、華々しく現れて爆発的にヒットし、行列に並んで苦労して購入したのに次の年には人気がなくなったり。おもちゃの世界に流行はつきものです。その中で長い間浮き沈みを繰り返しながらも、形を変えて生き残ってきた定番のおもちゃもあります。そんな流行と定番のおもちゃを展示します。



ブリキのラッパ 明治時代
兵庫県立歴史博物館所蔵/提供



プラコマ 昭和30年代



投げゴマ 昭和30年代



スペースチェイサー 昭和50年代



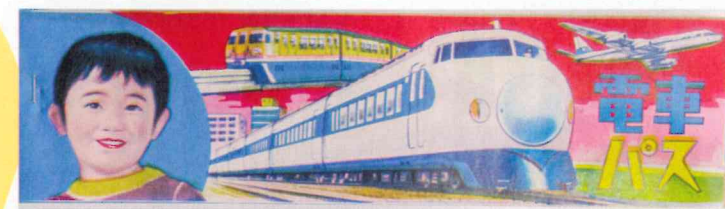
モンチッチ 昭和49年(1974)頃

02 紙もの

紙でできたおもちゃと聞いて、何を思い浮かべますか？ゲームのキャラクターのカード、トランプ、カルタ、絵双六、ぬりえ、めんこ…。そんな紙もののおもちゃのルーツも江戸時代です。当時の人気絵師が手掛けた組上絵(立版古)から現代のカードまで、様々な紙ものおもちゃを展示します。



めんこ 昭和30年代



電車パス 昭和30年代



新板ちからもちこども (部分)
寛政～天保頃(1789～1844)
中村長秀画 個人蔵



組上絵 新板組上灯籠湯屋新見世之図 文化頃(1804～1818)
葛飾北斎画 兵庫県立歴史博物館所蔵/提供

03 ごっこ遊び

鉄道のおもちゃと着せ替え人形の共通点は何でしょう？どちらも車両や人形のお洋服などをたくさん集めたくります。車両やお洋服だけでは満足できず、線路や駅、家具やおうちなど、情景までそろえたくります。そして鉄道ジオラマやドールハウスなど、大人の趣味にまで発展します。このコーナーでは、そんなごっこ遊びのおもちゃの昔と今を展示します。



ブリキの軍艦「鹿島」 明治時代
兵庫県立歴史博物館所蔵/提供



ブリキの新幹線 昭和30年代



タミーちゃん 昭和37年(1962)頃



素焼きの人形 昭和初期